

一般社団法人

# 香川県作業療法士会ニュース

発行：(一社)香川県作業療法士会広報部  
事務局：〒769-0205 香川県綾歌郡宇多津町浜五番丁 62-1  
四国医療専門学校 作業療法学科内  
(一社)香川県作業療法士会事務局

URL:<http://www18.ocn.ne.jp/~k-ot/> E-mail:[kagawa-ot@star.ocn.ne.jp](mailto:kagawa-ot@star.ocn.ne.jp)

## 「一生涯学び」

かつが整形外科クリニック 樋本 英司

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）が報告され約2年が経過しようとしています。生活様式が一変し様々な場面で不自由な生活を強いられました。私たちも「医療」・「介護」・「教育」などの現場でも目に見えない敵と戦っていかねばなくなり、私自身が作業療法士になって経験したことのない極めて厳しい状況下での業務となりました。

県士会活動も同様で担当している「地域医療介護総合確保基金事業(福祉用具研修会)」、「リハ3団体地域包括ケアシステム推進委員会」でも研修会が中止または延期になることもあり事業計画が円滑に遂行できなくなりました。事業活動では運営する側、また一方で学ぶ機会の両方の側面があります。福祉用具研修会ではコロナ禍でもありながら多職種の方の学ぶ姿勢や熱意に私自身も心を動かされました。そして、地域ケア会議では地域包括支援センターの行政職、介護支援専門員、薬剤師、栄養士、理学療法士、言語聴覚士との多職種連携では作業療法士として専門的な立場での助言をおこないました。しかし一方で多職種の視点からの助言が私自身にとって知見を広げる大きな学びの場となりました。

コロナ禍で学ぶ機会が一時的に失われたことで学びの大切さを再確認できました。最後に作業療法士として「多職種連携」など様々な場面で一生涯学べる機会に感謝いたします。



No.48 かがわ総合リハビリテーションセンター

OT 北山 和奈  
(18年目)

かがわ総合リハビリテーションセンターは、総勢49名のOTが働いています。病院部門では回復期病棟チーム、障害者病棟チーム、療養・子ども支援施設チーム、外来チームに分かれ、地域生活支援部門では、成人支援施設、福祉センターに分かれて働いています。

私は、数年、急性期病院で働いた後に当センターに就職しました。

現在は、外来チームで主に発達障害のお子さんの療育をしています。感覚統合療法を中心に、就学前までのお子さんの、生活動作や道具操作の獲得、学習支援を行っています。お子さんだけでなく、親御さんも支えていくということも含めて、未だに大変だなと思ったこともあります。それでも、OTとしてやりがいを感じたり、楽しいと思えることが年々増えてきたように思います。そう思いながら働かせてもらえる職場、上司、同僚、何より患者様に感謝です。

そんな中、自分の役割も少しずつ変化してきて、数年前からは、教育を担うことが増えました。センターのリハビリテーション部の教育も、協会の流れに沿い、年々システムが構築されています。自分がやりがいを感じ、そして楽しいと思っているこの場所で、後輩にも生き生きと仕事をしてもらえるような環境づくりをしていけたらなと思っています。そういいながら、逆に頑張っていて成長していく後輩達の姿に、実際は私が元気をもらっているのですが。

県内の小児分野の療育機関は少ないのですが、ここ数年は、横のつながりが出来てきていることがとても心強いです。他施設との合同の小児勉強会や、県士会のこども委員会特別支援教育チームでの活動で、情報を共有出来たり、勉強が出来たりと、様々な活動に志高く取り組んでいる人達からとてもよい刺激ももらえています。

最後に、先輩の声として伝えたいことは、長く働いていく中で、頑張れる時もあれば、ゆっくり運転の時もあると思います。せっかくOTという仕事を選んだのだから、それはもう楽しまないと思いません。助けてくれる人は周りに沢山いるのだから。

## No.49 高松赤十字病院

## 森永 奈津美

(9年目)



学生時代、急性期病院で実習をさせて頂いたことがきっかけで、急性期の作業療法に興味を持ち、高松赤十字病院に就職しました。急性期病院に就職し、臨床を経験し始めた頃は“作業療法ってなんだろう”と悩むことが多くありました。急性期のリハビリテーションでは、廃用症候群の予防や改善、早期離床のためにリハビリ処方されるケースが多くあります。患者さんにNeedsを聞くと、大体の患者さんは“歩けるようになりたい”と言われることが多く、歩行練習を希望されます。歩行はもちろんととても大切なことですが、PTと同じプログラムでの介入をすることも多く、これって作業療法なのか？と悩み、私の提供できる作業療法はなんだろうと自問自答していました。

現在、作業療法士になって9年目。臨床を経験してきて思うことは、患者さんが“歩けるようになりたい”と言った意味を考えられるようになりました。例えば、「歩いてトイレに行きたい」「買い物に行きたいから歩けるようになりたい」「身の回りのことが出来るようになるには歩けないといけない」など、“歩きたい”というNeedsの先にはADLやIADLが出来るようになりたいという思いを持った患者さんが多いことに気付きました。OTとして、“ADLやIADLに繋げるための歩行練習を実施する”という考え方が出来るようになったとき、自分の作業療法プログラムに自信をもって患者さんに提供できるようになりました。

患者さんが“歩けるようになりたい”と言った時には、「歩けたら何かしたいことがありますか？」と患者さんに問いかけるようにしています。患者さんの発言した言葉の意味を知ることによって、作業療法のプログラムの立案が行いやすくなります。また、患者さんとOTとの間に共通の目標が明確になり、円滑に作業療法を進めることが出来ると実感しています。もちろん患者さんの希望を引き出すことが難しいケースもありますが、患者さんに寄り添い、支えられるように、作業療法士として心のケアも含めた作業療法が提供できるよう、これからも精進していきたいと思っています。



# 新入会員紹介

今年度も多くの方が県士会に入会されました。  
これからよろしくお願ひします。

(順不同・敬称略)

①生年月日・血液型 ②出身地 ③出身校 ④勤務先 ⑤趣味・特技 ⑥職歴 ⑦自己アピール ⑧抱負



## 秋田 麗奈

- ①平成11年11月21日・B型 ②愛媛県 ③穴吹リハビリテーションカレッジ
- ④橋本病院
- ⑤カフェに行く事
- ⑦最後まで一生懸命頑張れる事
- ⑧患者様に寄り添う姿勢を忘れずに日々業務に取り組んでいきたいです。



## 三村 果音

- ①平成11年1月12日・A型 ②香川県 ③川崎医療福祉大学
- ④橋本病院
- ⑤美味しいものを見つける・食べる事
- ⑦前向きに頑張ります。
- ⑧患者様やスタッフの方々に信頼していただける作業療法士になれるように日々成長していきたいです。



## 高岡 利行

- ①昭和60年8月24日・A型 ②香川県 ③穴吹リハビリテーションカレッジ
- ④阪本病院
- ⑤書道・料理
- ⑥製造業
- ⑦一般の会社で社会人を10年してきました。リハビリの知識だけでなく、社会人としての知識も強みにして患者様と関わっていきます。
- ⑧思いやりをもって患者様と関わる事が一番大切と思っています。患者様に信頼されるOTを目指して、日々努力していきます。



## 藤谷 莉奈

- ①平成10年11月9日・A型 ②香川県 ③四国医療専門学校
- ④医療法人社団 聖心会 阪本病院
- ⑤クラリネットを吹くこと。音楽・映画鑑賞
- ⑦負けず嫌いな性格で、何事も最後までやり抜くことが強みです。
- ⑧1人1人の患者様の気持ちに寄り添い、信頼して頂けるようなOTになれるよう、日々努力していきます。



## 柘田 知佳

- ①平成10年9月8日・A型 ②香川県 ③四国医療専門学校
- ④阪本病院
- ⑤甘いものを食べる事
- ⑦共感性の高さを活かして、患者様の苦悩に寄り添えるセラピストを目指します。
- ⑧積極的に専門知識を学び、日々成長できるよう努力します。



## 石井 健

- ①平成11年2月9日・AB型 ②香川県 ③四国医療専門学校
- ④三船病院
- ⑤漫画・音楽・カラオケ
- ⑦なんとか生きてます。
- ⑧平和な日々を過ごす。



## 山崎 未夢

- ①平成12年4月5日・O型 ②香川県 ③専門学校穴吹リハビリテーションカレッジ
- ④医療法人社団 新進会 おさか脳神経外科病院
- ⑤カフェ巡り
- ⑦責任感が強い
- ⑧自分のペースで前につき進む



## 松下 千紘

- ①平成10年6月23日・A型 ②香川県 丸亀市 ③川崎医療福祉大学
- ④医療法人社団 新進会 おさか脳神経外科病院
- ⑤旅行・映画鑑賞
- ⑦1日映画4本観ます。動物大好きです。
- ⑧明るく楽しいリハビリを目標に知識、経験を身に付けていきたいです。



## 宮下 瑞紀

- ①平成10年11月10日・B型 ②香川県 ③四国医療専門学校
- ④回生病院
- ⑤テレビをみること
- ⑦健康です!!
- ⑧笑顔を忘れない作業療法士になります。



## 黒浜 靖季

- ①昭和62年10月20日・O型 ②香川県 ③穴吹リハビリテーションカレッジ
- ④総合病院 回生病院
- ⑤スポーツ
- ⑥佐川急便
- ⑦体力には自信があります。
- ⑧信頼される作業療法士を目指します。



## 味間 英輝

- ①昭和48年12月5日・A型 ②香川県 さぬき市
- ③専門学校 穴吹リハビリテーションカレッジ
- ④社会医療法人財団 大樹会 総合病院 回生病院
- ⑤読書
- ⑥会社員（産業用機械の卸売業）
- ⑦ねばり強く努力を継続するのが長所です。
- ⑧対象者の役に立てるよう研鑽してまいります。

No.25

# 病院紹介

香川県済生会病院



当院は恩賜財団済生会の施設として、昭和18年に高松市桜町に診療所を開設、その後病院となり平成16年に現在の高松市多肥上町に移転しました。一般病棟98床・地域包括ケア病棟50床・療養病棟50床の計198床でケアミックスタイプの急性期病院であるとともに診療船『済生丸』で瀬戸内海巡回診療も行うなど、地域に根ざした病院として運営しております。

現在リハビリテーション科はPT6名・OT8名・ST1名が在籍しており、『患者さまと心で接するリハビリ』を科の理念に掲げ、入院術後リハビリのみならず外来リハビリによる診療も積極的に実施しています。

OT部門では主に肩関節疾患や手の外科疾患などの整形領域の対象者が多く、患者様一人一人が望む生活に少しでも近づけることが出来るように、日常生活動作・家事・職業・趣味・スポーツ復帰などを目標に日々治療に取り組んでいます。また、地域包括ケア病棟には専従OTを1名配置し、病棟でのADL訓練やレクリエーションを通して日常生活場面に密接に関わっています。その他にも、排尿自立支援チームや緩和ケアチームにOTが参画することで、当院のチーム医療の一員として多職種と連携・協働したサポートが出来るよう充実を図っています。今後も地域から必要とされる病院、リハビリテーション科であり続けるために日々業務に取り組みたいです。



New!

## リレーエッセイ12

上野 遊太

(こころの医療センター五色台)

西村 卓也

(高松平和病院)

松原 賢固

(檜村病院)

作業療法士資格を取得してから早や8年。前職は山奥の知的障がい者施設で生活介護員をしており、毎日利用者のおむつ替えや食事介助、夏には職員4人程で、スコップで地面を掘ってプールづくり、宿直では夜中に利用者さんの大脱走を食い止めるために必死に追いかけて、さながら鬼ごっこのような日々、体が元気な利用者さんからは後ろからドロップキックや噛みつき、時には便を投げつけられるなど、ちょっと変わった日常を送っておりました。

そんな利用者さんの中にも体が不自由で動かしにくい、意思疎通が困難、食事介助が必要など、リハビリが必要であろう方々もいらっしゃったのです。介護職員では知識も乏しくできることが少ない…そう思い、以前から興味があったリハビリ職への転職を決めました。

現在は、三木町にある檜村病院で働かせて頂いております。主に整形疾患が中心で特にHand疾患やSplint作製を中心に、日常生活や仕事に復帰出来る様に訓練を行っております。病院で毎日様々な方と接し、治療させていただき、人生経験を積んでいる途中で。

休日は職場の同僚や中学、リハビリ学校時代の友人たちと、今流行りのジムニー×キャンプ(道具の収集も)の組み合わせで息抜きがてら趣味を楽しんでいます。

他にも車、バイクの整備やキャンプ道具を作製し自己満足に浸っています。

これからも作業療法士として頑張っていかなければならないと思いつつも趣味に興じてしまい反省の日々です…。



## (一社)香川県作業療法士会運営に関する周知会

今年度も協会の重点項目、当士会の事業や方向性についてご理解いただくため、周知会の場を設けさせていただき、各施設の代表者の方に参加していただきました。会長の松本嘉次郎からの説明後、「県士会活動の円滑化」「組織率向上」をテーマとした、下記2点に関することに対し、参加者の皆様からグループでご意見をいただいたものを下記にまとめました。また、そのご意見に対して県士会より回答をさせていただいています。

日 程：(1) 令和3年9月29日(水) 19:30～21:00 参加者数：37名  
(2) 令和3年10月7日(木) 19:30～21:00 参加者数：24名  
形 式：オンライン (Zoomを活用したリアルタイム配信)

### 【検討議題1】

県士会活動に協力してくれる会員を増やして行くための士会での取り組み方法について。各施設に協力をしてもらうための方法など参加者からのご意見と士会からの回答(⇒)。

(1) 士会員(新人含む)の繋がりが少ないので、交流の場を設けてはどうか。また新人周知会に参加した方に興味のある部局にお試し入部、また新卒の方にはどこかに所属してもらうのはどうか。

⇒現在、新人や異動者に対する士会の説明会(新人周知会)を毎年行っており、直近の2年はコロナ禍の影響にてZoomによるオンライン説明会を実施しております。周知会に参加されている方に対して、部局の興味等アンケートをとらせていただき、アンケート結果より、一部の方には個別でのお声かけをさせていただいています。毎年、会員のいる施設には新人周知会をお知らせしておりますので、各職場で入職された方がいらっしゃいましたら、お促しをお願いいたします。

(2) 職場の責任者が士会の活動に促すことができれば、所属会員も入部して活動しやすくなるかもしれない。県士会での活動をすることによって、どんな成長ができるのかを、若手にみせるのはどうだろうか。また、非会員の所属する施設に対して声かけをしてはどうか。

⇒職場の方からの声かけは大変ありがたく思います。士会の活動は、会員の社会性を育み、職場の違う作業療法士との交流の場になり、様々な情報のやり取りや悩み相談なども出来る貴重な場にもあると考えています。非会員の方に対する声かけですが、当会は、会員に関しての情報はありますが、非会員の方が何名いるのかなどの情報はありませので、各職場からの情報をいただかないと声かけが出来ない状況です。ご協力をお願いします。

(3) リモート(Zoom)を利用しての活動を増やし、参加しやすい環境を作れば良いのではないかと?



⇒香川県内の職能団体の中では、早い段階でZoom契約を行い、昨年度よりオンラインでの研修会や各部の会議を行っています。ハイブリット研修会なども企画・実施しておりますので、多くのご参加をお待ちしています。

#### **(4) 協会・県士会に入会、参加するメリット、またデメリットも含めて発信があった方がわかりやすい。**

⇒入会、参加のメリットは、個人としても学術的な研鑽、資質の向上、色々な作業療法士との交流などあげられます。団体としてのメリットは、組織率が高いと他団体や行政の信頼が高くなるなど、作業療法士という職業理解や領域の拡大、作業療法士の地位向上などがあげられます。デメリットとしては、業務以外での活動となることから、負担は増えますが、やりがいも増えます。

### **【検討議題2】**

**未入会者や退会者が多く、組織率が減少している現状であるが、士会として入会を増やす方法について。各施設でも入会者を増やしていく方法など参加者からのご意見と士会からの回答(⇒)。**

**(1) 勤務先の上司の勧めや県士会活動に参加している先輩から入会を促す、また管理者への入会アプローチを行いながら、様々な人材を集めることで県士会は盛り上がるのでは。**

⇒当士会でもご意見通りと考えております。現状では、県士会としてはお勧めしておりますが、管理者が非会員、また、特におすすめされていないことも多いかと思えます。この度の周知会も、お伝えする機会でもありますし、管理者の皆様にも直接お伝えするように引き続き心がけたいと思えます。

**(2) 職能団体としての価値を上げていく。**

⇒とても重要な課題で、我々も活動しています。職能団体として、会員数や組織率は大変重要で団体の価値に繋がります。

**(3) 入会方法がわかりにくく、手続きをわかりやすくしてほしい。会費の自動引き落とし、子育てなどで休会している人の支援があればよい。**

⇒入会に関しては、毎年「新人周知会(転入者含む)」での説明、県士会HPで手続きについて説明をしておりますが、不十分な点もありますので、より分かりやすい説明や方法を検討して行きます。休会制度に関しては、協会と同時期に士会も休会制度を実施しております。会費に関しては、現在「協会員=士会員」となるために、協会と共に協力し行っていますが、全国で一斉に行う準備のため、もう少しお待ちください。

### **【香川県作業療法士会からのお願い】**

今回は参加者の皆様のご意見を一部紹介させていただきました。社会背景の変化、コロナ禍等もあり、作業療法士の職域も大きく変化しつつあります。また、香川県等の行政より、作業療法士を求める機会も増えてきております。「県士会活動の円滑化」「組織率向上」を図ることが、皆様の後押しとなり、作業療法分野の認知度拡大に繋がると考えております。引き続き、ご意見、ご協力をよろしくお願いいたします。

## 令和3年第1回学術研修会開催報告

令和3年7月25日(日)にオンラインにて令和3年度第1回学術研修会を開催しました。大阪府立大学教授、竹林崇先生をお招きし「課題指向型練習における概念と評価」というテーマで講義して頂きました。当日は、43名の参加がありました。第1回学術研修会としては初めてのオンライン開催となり、進め方や、会議もWEB上のみの為、戸惑う部分もありましたが、当日は何事もなくスムーズに開催することができました。

竹林先生の講演は令和元年度の研修会に引き続き、2回目となりました。前回研修会終了後のアンケートでは「続きが聞きたい、具体的な難易度調整が聞きたい」や「課題指向型訓練の内容をもう少し聞きたい」と言う、より深い内容を聞きたい、と言う意見が多く聞かれたため、介入に関する内容を多くして頂きたいと言う依頼の元、引き受けて下さりました。

当日の講演では前半にFMAの評価、課題指向型アプローチの概念について説明して頂き、後半は課題指向型訓練(Shaping、Task-practice)での評価方法や難易度調整について詳しく説明して頂きました。初学者にとっては難しい内容になるかと思いましたが、基礎的な部分も話して下さり、非常にわかりやすい内容だったと感じました。個人的には具体的な訓練と難易度調整が理解できたことに加えて、生活環境や文脈を含めた介入を行うことでより深く治療介入が行える事を再確認でき、とても刺激的な内容となりました。

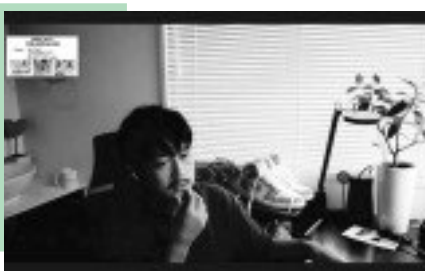
終了後の出席者のアンケートでは「明日から使える課題の難易度設定を学ぶことができ良かった」「Shapingと、Task-practiceの割合については観察と動作分析が必須であると感じた」や「課題選択や難易度調整は常々自身の課題だったので非常に参考になりました」「QOM3.5付近の難易度が実際の程度かが分かりにくい部分があったが、具体的に動画でこの動きが何点かを見せて頂きとても参考になりました！明日から活かしていきます」など、講義内容に対して参加者の満足度が高い意見が聞かれました。

研修会は例年同様、午前中開催でしたが、オンライン開催は参加しやすい、と言う意見が聞かれました。確かに自宅のまま研修会に参加できる色々なメリットはあると思います。しかしやはり寂しさを感じると共に、講師、受講者共に反応が見られる方が良いのではないかと思います。今後、感染状況にもよりますが、やはり対面で行えるような研修会が恋しく感じました。

今回お忙しい中、お引き受けいただきました講師の竹林先生、及び学術部担当委員の皆様、ご参加頂いた皆様ありがとうございました。

今後も会員の皆様の知識技術に繋がる研修会を企画・運営したいと思っておりますので、引き続きよろしく願いいたします。

第1回学術研修会担当 学術部副部長 西山脳神経外科病院 鶴窪 良樹



# 広告掲載についてのご説明

## 1.「(一社)香川県作業療法士会ニュース」について

作業療法、(一社)香川県作業療法士会の広報を主な目的に、年2回発行。会員・会員施設・関係団体など各号約800部を送付しています。

## 2.広告のサイズと料金(1掲載につき)

1 ページ	たて 24cm× よこ 16cm	40,000 円
1/2 ページ	たて 12cm× よこ 16cm	20,000 円
1/4 ページ	たて 12cm× よこ 8 cm	10,000 円

(一社)香川県作業療法士会賛助会員はそれぞれ半額となります。

## 3.広告の原版について

鮮明なものに限ります。写真・マークなども掲載できます。

いただいた原版はそのまま印刷されますので、サイズに収まるよう作成し、期日までにお送りください。(原版1部、コピー1部)

\*ただし印刷の都合上若干、形などが変わることがあります。

期日(最終原版締め切り)は発行予定の1ヶ月前とさせていただきます。

## 4.掲載までの手順

- ①書類をご確認の上、申込用紙・原版・原版のコピーをお送りください。
- ②広告掲載料の振り込みをお願いいたします。
- ③掲載された県士会ニュースをお送りいたします。

### 原版送付先

〒761-2393 香川県綾歌郡綾川町滝宮 486

### 滝宮総合病院

リハビリテーション科 作業療法士 木村 勇介

### 広告料振込先

百十四銀行 県庁支店 **口座番号：普通 0993345**

加入者名：一般社団法人 香川県作業療法士会 会長 松本 嘉次郎

ご不明な点がございましたら

滝宮総合病院 作業療法士 木村勇介 までご連絡ください。

TEL **087-876-1145** FAX **087-876-1302**



**入 会**

- 藤谷 莉奈 (阪本病院)
- 柘田 知佳 (阪本病院)
- 山崎 未夢 (おさか脳神経外科病院)
- 三井 俊二 (いわき病院)
- 植松久美子 (介護老人保健施設 サンフラワー)
- 大嵐 柚貴 (いわき病院)
- 瀬川 莉央 (しおかぜ病院)
- 加藤 雄太 (三豊市立西香川病院)
- 山野 彰真 (三豊市立西香川病院)
- 大野 達樹 (創心会リハビリ倶楽部高松中央)
- 小野 鷹嗣 (介護老人保健施設 みの荘)
- 山田ひかり (創心会リハビリ倶楽部高松中央)
- 山本 奈波 (かがわ総合リハビリテーション事業団)
- 三野友理捺 (赤沢病院)
- 榎並謙二郎 (まるがめ医療センター)
- 矢野真喜子 (西紋病院)
- 山内 夏希 (西山脳神経外科)

**異 動**

- 山城 朋世 (国立病院機構 高松医療センター)
- 山地 康生 (介護老人保健施設ふぁみりえ)  
▶せとうち福祉サービス
- 小亀 祐希 (総合病院回生病院)  
▶おおにし整形外科スポーツクリニック
- 仁木 隆之 (ふじた医院)  
▶合同会社 マツラボ
- 伊勢谷友美 (林内科呼吸器科医院)  
▶介護老人保健施設ハートフルこくぶんじ荘
- 菅原 雅美 (高松平和病院)  
▶介護老人保健施設 虹の里
- 藪内 涼太 (高松協同病院)  
▶訪問看護ステーション みぎ
- 田埜 篤司 (松井病院)  
▶介護老人保健施設 観音寺ケアセンター
- 西山多喜子 (川口医院)  
▶自宅

**退 会**

- 松村 佳奈 (自宅休会中)
- 兒高めぐみ



■ (一社)香川県作業療法士会ニュース No.83 ■

編集長 木村勇介 (滝宮総合病院)

編集委員 平尾芹奈 (坂出市立病院) 細谷かぐや (吉峰病院) 塩田未紅・安藤瑞基・大林美紀 (松井病院)

村上太気 (いわき病院) 大嶋祐輝 (看護小規模多機能型居宅介護 然)

金倉由美・宇佐川雄太 (まるがめ医療センター)